



県統計グラフ コンクール最高賞

1月26日、青嶺中学校の生徒が『令和5年度統計グラフ佐賀県コンクール』第4部(中学生)の部で最高賞の特選を受賞したことを報告するため、松本定教育長を訪問しました。

このコンクールは、統計知識の普及と統計の表現技術の研鑽に役立てるため、毎年実施されています。

今回、青嶺中学校文化部の3年生4人は『どうなる「家読」くうちどくの町の今』をテーマに、生徒や住民にアンケートをとるなどして、現状や課題を分析し、作品をまとめ、高い評価を受けました。



↑作品はグラフを本やまちかど絵本箱に見立てたデザインにするなど細部にまでこだわった力作

みんなどう 考えよう 人権・同和問題 No.269

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

●問合先 生涯学習課人権・同和教育係(☎23-3186)

自分のこととして考えるために

近年、インターネット上には差別的な情報があふれていて、それが深刻な社会問題になっていきます。例えば、エツクスやフェイスブック、ライン、インスタグラムなどのSNSをはじめ、匿名で参加することができる掲示板サイトなどで、悪質な書き込みや特定の個人に対する誹謗中傷などが後を絶ちません。また、ユーチューブなどの動画投稿サイトにも、人権侵害を扇動するような悪質な動画が数多く存在しています。いまやインターネットは私たちの生活に欠かせませんが、自分の意思に反して差別的な情報と出会ってしまう危険性も併せ持っています。インターネットから得た情報はうのみにせず、その情報が間違っていないのかしっかり確認することが大切です。

インターネットは便利ですが、使い方次第で人を傷つけてしまうこともあります。

スマートフォンの普及でインターネットが身近になり、誰もが簡単に情報を送受信することができるようになりましたが、差別的な情報に安易に同調したり拡散したりすることで、知らないうちに自分が差別的『加害者』になってしまっている人もいます。日本では古くから、言葉のことを『言霊(ことだま)』と呼んで大切にしている、言葉には人生を左右する大きな力があるとされてきました。嬉しくて心があたたくなくなった、悲しくて凍りつきそうになったり、たった一言でそんな気持ちになったことがありませんか。インターネット上も同じです。顔の見えない相手の気持ちを自分に重ねて想像しましょう。インターネットを使うのはあなたです。『自分には関係ない』と考えずに、社会全体のこととして考えることが大切です。

郷土の文化財

史跡大川内鍋島窯跡調査事業

日峯社下窯跡の調査成果⑪

●問合先 生涯学習課文化財係(☎22-1262)

出土した初期鍋島の製品について紹介します。

【写真①、②】は、日峯社下窯跡の物原から出土したものです。一般的な鍋島焼の皿は、

【写真③】のように見込み(皿の内側)が深く、さらに高台が高くなっている、塗りのお椀のような形をしていることから『木盃形』と呼ばれています。しかし、鍋島焼の最初の段階(初期鍋島)では、【写真②】のように見込みが浅いものがあります。また、高台の文様も鍋島焼の特徴である

【写真①】



【写真②】



【写真③】



椰の歯に似た文様(椰歯文)が描かれています。やや短めで、椰歯文の下にある圈線(横方向の染付の線)がないことも古い様相を示しています。特にこの出土品は、高台径が広いのも特徴的です。内面には、ダミによるほかしと、ススキのような秋草が細くて勢いのある線で描かれていて、技術力の高さがうかがえます。